

星合操の
秘密の図書館

星合操



禁じられたイヴ



イヴはまだ
眠り続けている

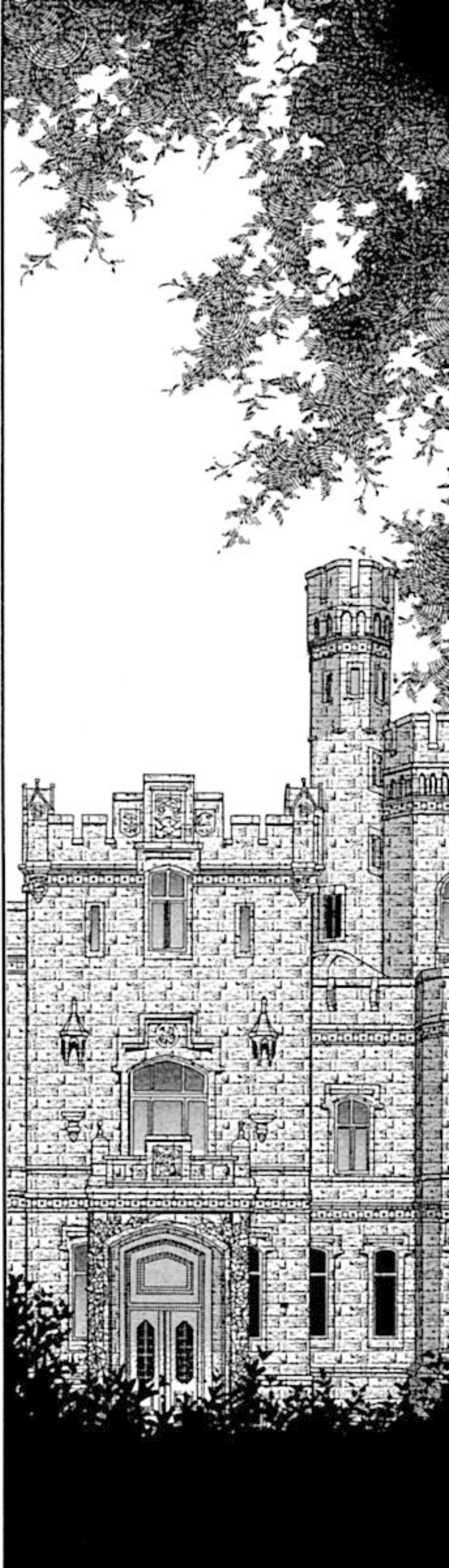


イヴ
早く
目覚めてくれ

森の老婆は
10日程で
目覚めると
言ったが

今日で
その10日目だ

まだなのか
イヴ…





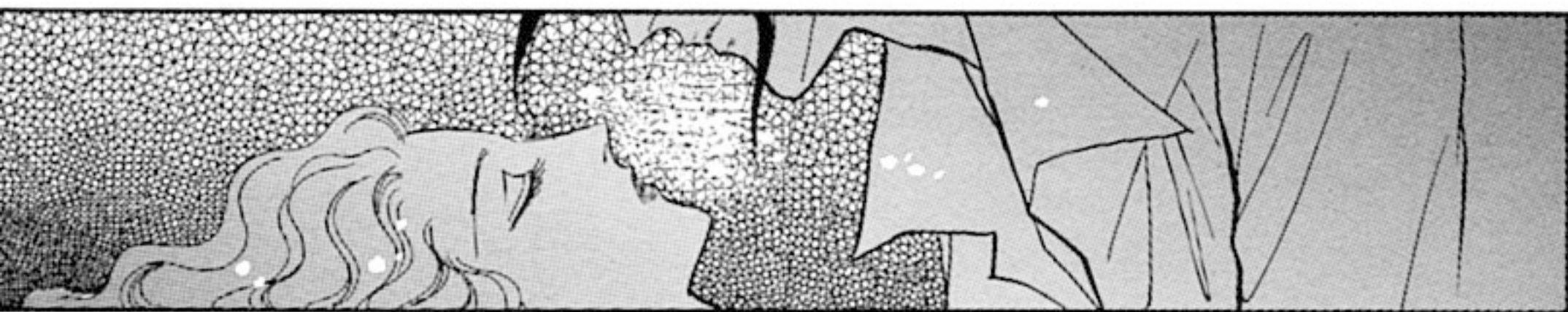
早く
その瞳を開き

もう1度
私を
見つめておくれ

その唇で
もう1度
私の名を
呼んでおくれ



イヴ…





私が
わかるか!?

イヴ!



イヴ!!



あ……
…あ……

あ……

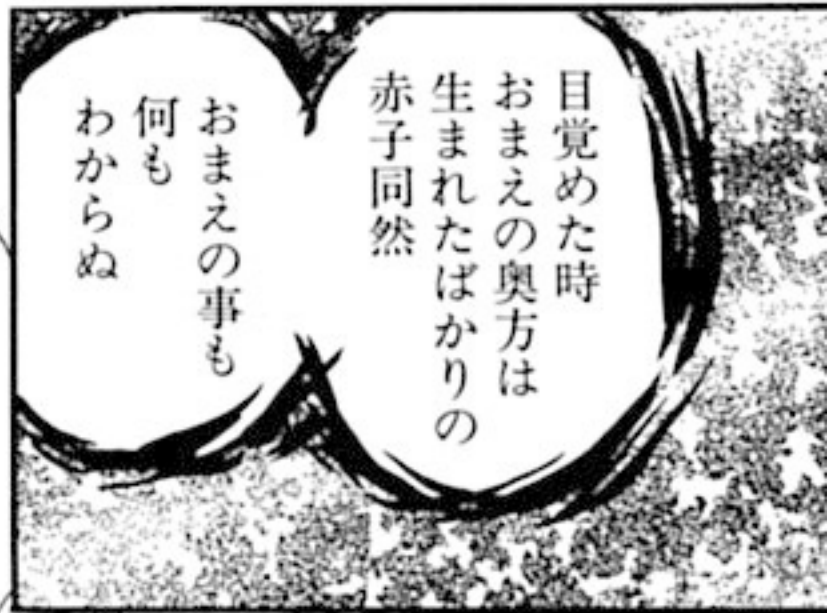


イヴ……



あ……あ……

……あ……



目覚めた時
おまえの奥方は
生まれたばかりの
赤子同然

おまえの事も
何も
わからぬ



おまえが
一から
教えてやることじゃ



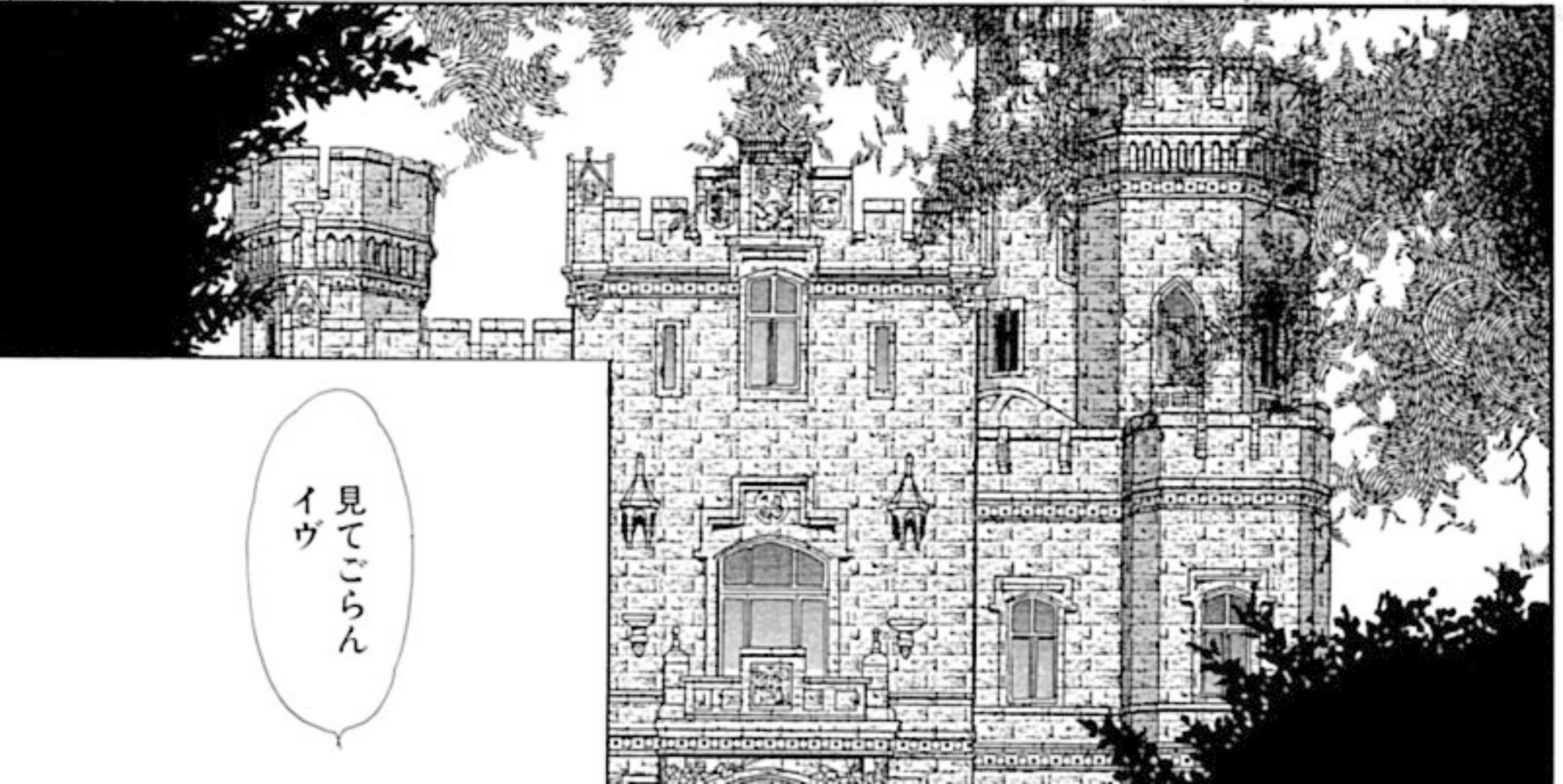
わからなくて
いいんだ

2人で
始めよう

もう1度
2人で

幸福な日々を
始めるんだ

私のイヴ…



見てごらん
イヴ

これは
ロンドンの街の
写真だ

私達は
この街で
出会った

きみは
ご両親と
旅行中だった

私は
商談のために
訪れて
いたのだが

きみは
まるで
春の花のように
華やかに
愛らしく

しかし
礼儀正しく
清らかで

私は
たちまち
きみに
恋をした

きみも私に
好意を
持ってくれ

そして
私達は
結婚したんだ

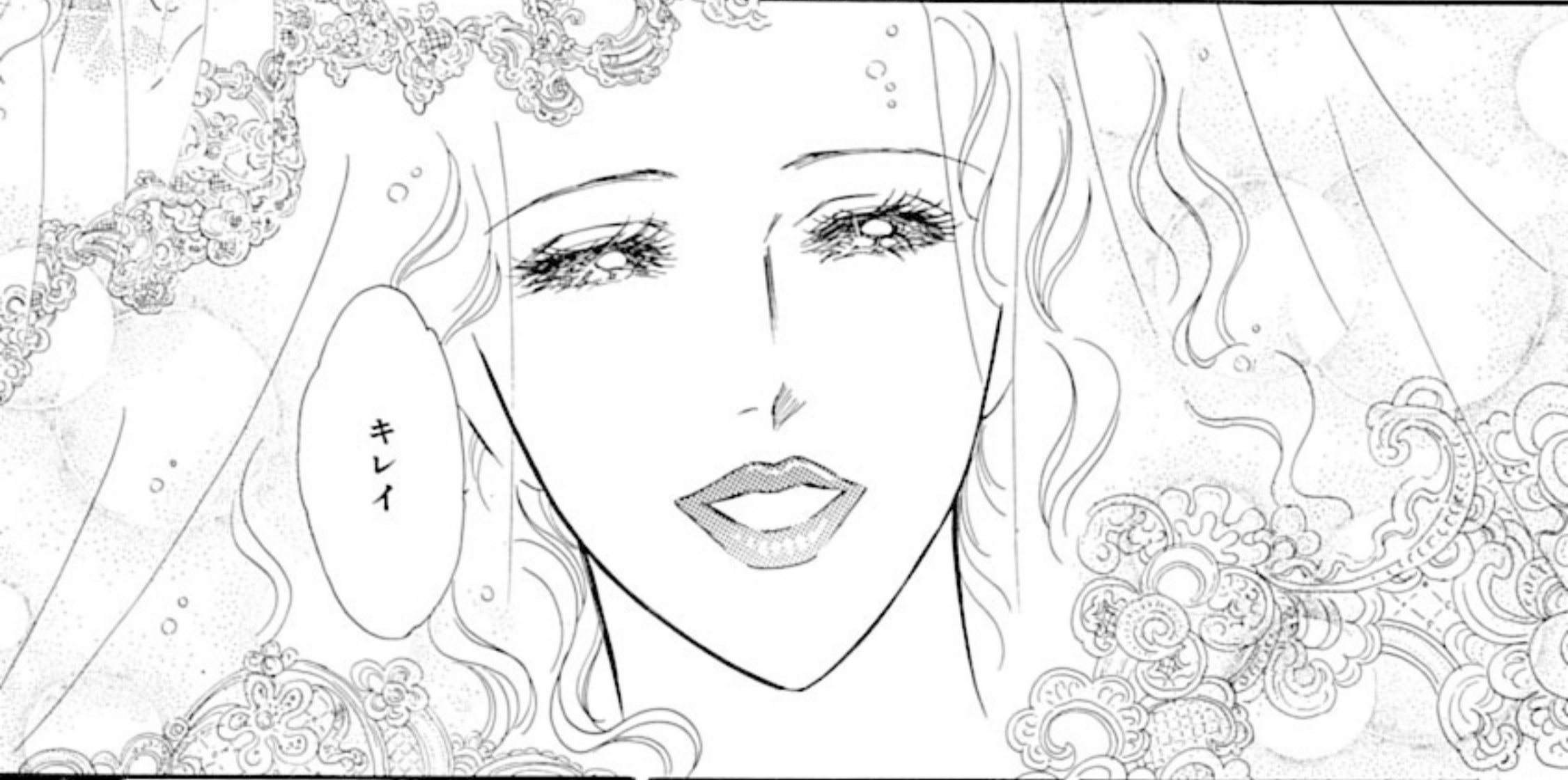
……
けっこん……?

そうだよ

いいものを
見せてあげよう



式の日
きみを飾った
ベールだ



キレイ



そうだ
きみはイヴ
私の妻だ



イヴ...
わたし...
イヴ...?



美しいのは
きみだよ
イヴ



そして
私は
ジャック
きみの夫だ

私は
イヴに
つききり
で
過ぎ
ました

イヴは
1日毎に
生気を
取り戻
して
く
る

1日毎に
私の愛
したイ
ヴに
戻っ
てい
く

あなた

あなた
のため
に
作
った
のよ

お庭
に
きれ
いな
花が
たく
さん
咲
いて
たの

幸福
が
甦
って
く
る



